

事業報告

(令和2年度)

【令和2年4月1日～令和3年3月31日迄】

1. 事業概要	1
2. 事業実績	2
(1) 人材育成事業（資金援助）	3
(2) 人材育成事業（褒賞）	4
(3) 人材育成事業（自主事業）	5
(4) 普及啓発事業	6
(5) 調査研究事業	6
3. 会議実績	
(1) 理事会	7
(2) 評議員会	8
4. その他	
(1) 許認可および登記等に関する事項	8
(2) 寄附金に関する事項	8
(3) 内部管理体制に関する事項	8
(4) 附属明細書	8

公益財団法人 日産財団

令和2年度事業報告

1.事業概要

新型コロナウイルス感染症を契機として世界は時計の針を大きく進め、新しい時代を迎えつつある。このような時代の転換点となった今年度、日産財団は計画された事業を着実に前進させつつ、コロナ禍への緊急対応と新時代に向けた事業の在り方を模索した。

コロナ禍への緊急対応としては、直接影響を受けた学校現場に配慮して、理科教育助成事業の助成期間の延長や助成金使途変更手続きを行った。併せて、事業全般のリモート化を進め、計画したイベント(贈呈式、各種セミナー、ワークショップ)を全てオンラインに切り替え、出勤や出張を伴う会議・打ち合わせも管理費内交通費用ベースで2割程度に抑えた。これらの活動により、リモートイベント開催マニュアル、在宅勤務関連規程、リモートワークインフラなど財団内のストックを蓄積することができた。

新時代を見据えた事業展開としては、まず財団の財務的制限の中で助成事業の価値を最大化する方針として、「金銭的助成」から「知財助成」へ、という大きな転換を志した。さらに、急激に変化する時代背景(ポストコロナ、技術革新、教育環境変化など)を踏まえて各事業の将来を構想し、新しい枠組みの仕込みを行った。

➤ 人材育成事業(理科教育助成事業)

これまで理科教育助成事業のまとめの書籍発行を節目として、この事業を従来の日産事業所所在地への地域貢献から、より先端的な理科系リーダー人材育成事業へ先鋭化することを構想した。新しい教育の潮流(創造性、問題解決能力、ICT教育 etc.)を織り込んで、「全国公募化」「創造性(STEAM教育)目的の追加」「1年間助成」を骨子とした新制度を設計し、令和3年度公募開始に向けて準備した。

➤ 人材育成事業(理系女子育成事業)

事業開始から3年を経て、これまでの褒賞に加えて、理系女子育成のための知見の発信／交換活動を開始した。新企画「リカジョ育成フォーラム」では、過去の受賞者の優れた活動紹介に加えて、企業系財団の特徴を生かして企業人事(日産の開発部門人事)から、女性理系技術者への期待を伝えた。

➤ 人材育成事業(未来人材育成事業)

未来人材育成を、生徒／教師／親ら関係者が皆で考える「未来のリーダー教室」において、育成すべき能力を「アート(創造性)」「イノベーション」「リーダーシップ」との仮説を置いて、実験的ワークショップを開催した。

➤ 普及啓発事業(書籍発行)

17年の歴史で積み重ねた理科教育の知見を分析し、現場教育に生かせる教育書籍「授業で語るこれからの理科教育」を発行し、全国販売するとともに助成校や関連団体に無償配布した。

➤ 調査研究事業

未来人材育成の理論背景を研究する共同研究の中で、コロナ禍で激変する大学、教育産業、海外の先端大学、のイマとミライを語るセミナーを開催した。

<令和2年度助成実績>

助成事業			助成金等(千円)
人材育成事業	資金援助	理科教育助成	22,400
	褒賞	理科教育賞	2,200
	褒賞	日産財団リカジョ賞	400
	自主事業	未来のための教育人材育成講座	342
普及啓発事業		理科教育助成の成果書籍発行	3,571
調査研究事業		リーダーシップ研究	643
合 計			29,556

2.事業実績

(1)人材育成事業(資金援助)

① 理科教育助成

子どもたちの科学的思考能力を向上させる教育実践や教師の理科指導力を向上させる授業研究を行う小中学校、研究会などへの助成を今年度も継続実施した。

助成総数:32件、助成総額:2,240万円、助成期間:2年間

<福島県:総数8件 総額560万円>

所属機関名	テーマ
■ 県北教育事務所 : 1件 70万円	
伊達市立伊達中学校	思考力・判断力・表現力を高め、理科好きな生徒を育てる学習指導のあり方
■ 県中教育事務所 : 1件 70万円	
古殿町立古殿中学校	科学的な思考力を育むための学習活動の工夫
■ 県南教育事務所 : 1件 70万円	
鮫川村立鮫川小学校	「見える 気付く 考える」自ら観察対象にアプローチし、気付き考えることができる児童の育成
■ 会津教育事務所 : 1件 70万円	
喜多方市立第二中学校	生徒の興味・関心を高め、思考力・判断力・表現力を育む学習活動の工夫 ～ICTの活用によって～
■ 南会津教育事務所 : 1件 70万円	
南会津町立田島小学校	児童が主体的・対話的に学び、科学的に問題を解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方
■ 相双教育事務所 : 1件 70万円	
川内村立川内中学校	探求を学び、理科好きな生徒を育てる授業のあり方

所属機関名	テーマ
■ いわき教育事務所： 2件 140万円	
いわき市立四倉中学校	日常生活やこれまでの既習事項と授業を関連付ける学習活動の工夫
いわき市立渡辺小学校	自然の事物・現象から見出した問題を主体的に解決し、自然のすばらしさや命の尊さを発信できる子どもの育成

＜栃木県:総数3件 総額210万円＞

所属機関名	テーマ
■ 栃木県教育委員会： 3件 210万円	
宇都宮大学共同教育学部 附属中学校	中学校2年生の電気回路の学習法について
日光市立三依小中学校	極小規模校ならではの「主体的・対話的で深い学び」を実現する理科授業
足利市立梁田小学校	理科の見方・考え方を育むICTの活用～子ども同士をつなぎ高め合う学習指導を基盤に～

＜神奈川県:総数15件 総額1,050万円＞

所属機関名	テーマ
■ 湘南三浦教育事務所: 2件 140万円	
三浦市立初声小学校	デジタル教具を用いて、生物の多様性を共通に味わう実践
葉山町立長柄小学校	対話と探究を通じた学びを深める理科～ICTの有効活用を目指して～
■ 県央教育事務所: 2件 140万円	
大和市立福田小学校	小学校教育現場の実状に基づいた理科教育課程の自主編成案
綾瀬市立綾西小学校	自分らしく、豊かに学び合う子の育成 ～児童が学ぶ楽しさを実感する理科授業を通して～
■ 中教育事務所: 1件 70万円	
平塚市立土屋小学校	新たな時代に対応する理科教育 ～グローバル化を 見据えて～
■ 県西教育事務所: 3件 210万円	
二宮町立二宮西中学校	大きく映してわかりやすい授業にするICT活用～体験的活動を通じた情報活用能力の育成～
大井町立湘光中学校	ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現への取り組み
小田原市立白山中学校	実験の個別化とICTを用いた協働的学習について
■ 相模原市教育委員会： 1件 70万円	
相模原市立鶴野森中学校	探究的な学びを行うことによる生徒の変化～ICT機器の有効活用を通して～
■ 横須賀市教育委員会： 1件 70万円	
横浜市立荏田南小学校	小学校教育のICT化に向けた環境整備～「わかる授業」を実現するために～

所属機関名	テーマ
■ 横浜市教育局委員会：5件 350万円	
横浜市立榎が丘小学校	豊かなかかわり合いを通して、主体的に学びを深めようとする子どもの育成
横浜市立神奈川小学校	子どもが自分の問いをもち、探究することを楽しんだり、やりがいを感じたりする理科学習
横浜市立荏田南小学校	小学校教育のICT化に向けた環境整備～「わかる授業」を実現するために～
横浜市立鴨居中学校	自己評価力を高める授業の在り方 ～クラウドサービスの活用を通して～
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校	課題研究を通じたコンピテンシーの育成

<福岡県:総数7件 総額490万円>

所属機関名	テーマ
■ 福岡県教育委員会：3件 210万円	
豊前市立角田小学校	自ら問いをもち主体的に問題を解決する子どもを育てる理科学習指導
飯塚市立上穂波小学校	自ら課題をみつけ、主体的に考え、友だちと共に高め合う子どもを育てる 理科学習指導
柳川市立城内小学校	自然に働きかけ、創造性を培う子どもを育てる理科教育
■ 福岡市教育局委員会：3件 210万円	
福岡市立東若久小学校	子どもの考えを深める 理科指導～活用場面における学習活動の工夫を通して～
福岡市立笹丘小学校	見方・考え方を働かせて資質・能力を身につけた児童を育成する生活科・理科の学習指導法の研究
■ 北九州市教育委員会: 1件 70万円	
北九州市立湯川小学校	自ら学び、問い続け、変わる自分を楽しむ子どもを育てる理科学習指導

(2)人材育成事業(褒賞)

① 理科教育賞

平成29年度助成対象者の中で、2年間の教育実践を終え、特に優れた実績を残した4校による成果発表会を令和元年7月24日に開催し、最終選考の結果、下記の各賞受賞校に決定した。

【理科教育賞大賞 副賞100万円】

栃木県 下野市立祇園小学校

【理科教育賞 副賞各50万円】

福島県 いわき市立小名浜第三小学校、神奈川県 横浜市立南本宿小学校

福岡県 北九州市立曽根東小学校

【理科教育賞ポスターセッション賞 副賞 20万円】

福島県 いわき市立小名浜東小学校

② 日産財団リカジョ賞

日本国内の小学校と中学校、博物館などの教育施設に於いて、女子児童・生徒の理科への興味関心を顕著に高めたと認められる実績に対し『日産財団リカジョ賞』として下記の団体・個人に褒賞を行った。

【日産財団リカジョ賞 グランプリ 副賞 20 万円】

函館工業高等専門学校 理系女子実験隊

【日産財団リカジョ賞 準グランプリ 副賞 10 万円】

国立大学法人筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
同志社大学

③ リカジョ育成フォーラム(自主事業)

日産財団リカジョ賞の成果を広く共有するために、過去2回の受賞者から、東京大学物性研究所の餅田円氏、和歌山信愛中学校・高等学校教諭 酒井慎也氏に加え、日産自動車㈱から谷口圭一氏を招き、理系分野における女性の現状や今後のあり方について理解を深めた。

実施年月日 : 令和2年12月13日

実施方法 : オンラインにて実施

参加者 : 全国から応募した 82 名

(3)人材育成事業(自主事業)

① 経営人材育成セミナー

本年度はこれまでの GRLP の過去の受講生の継続的な学びの場として、アルムナイのみの実施を予定していたが、コロナ禍で実施を断念した

② 未来のための教育人材育成講座(未来のリーダー教室教員編)

Society5.0(超スマート社会)をリードする人材づくりを目指し、初等中等教育段階において、リーダー資質を萌芽・育成することを狙いとして、今年度は、教員向けのワークショップをオンラインにて開催した。

実施年月日 : 令和3年2月6日、令和3年2月10日、令和3年2月20日

実施方法 : オンラインにて実施

講師 : 池上重輔(早稲田大学商学学術院)

福村彩乃(リフレクトアート㈱代表取締役 CEO)

栗田絵莉子(玉川大学芸術学部助教)

参加者 : 全国から応募した小中高校教員等 20 名

実施費用総額: 342 千円

(4) 普及啓発事業

① 理科教育助成の成果書籍発行

理科教育助成の助成開始以来 16 年余の成果を、横浜国立大学教育学部名誉教授 森本信也氏に分析・執筆いただき書籍を発行し、理科教育助成のこれまでの助成対象者へ無償配布を実施するとともに、全国書店での販売を実施した。

研究費総額 : 400 万円

実施費用総額: 3,571 千円

(5) 調査研究事業

① リーダーシップ研究

Society5.0(超スマート社会)をリードする人材づくりを目指し、初等中等教育段階において、リーダー資質を萌芽・育成することを狙いとして、未来のリーダーに必要となる能力の萌芽・育成のための方法論に関する調査研究を行った。

初等中等教育段階におけるリーダー資質の萌芽・育成に関する調査研究

研 究 期 間 : 平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月末日

共同研究者 : 早稲田大学商学大学院 GSL 研究所

担当教授 : 池上重輔教授、村瀬准教授、他大学院講師等数名

研究費総額: 500 万円(研究実費)

今年度実施費用総額: 643 千円

② オンラインセミナーの実施

今年度は、池上重輔教授が開催する研究会、Future of Education によるオンラインセミナーを3回実施した。

第1 回「大学のイマ・ミライ」

講 師: 池上重輔氏(早稲田大学商学大学院)
佐藤浩章氏(大阪大学准教授)
細江一樹氏(㈱タナベ経営)

参加者: 75名

第2 回「学校のイマ・ミライ」

講 師: 池上重輔氏(早稲田大学商学大学院)
伊藤賀一氏(社会科講師)

参加者: 300 名

第3 回「教育のイマ・ミライ」

講 師: 池上重輔氏(早稲田大学商学大学院)
Ben Nelson(ミネルバ大学)

参加者: 210 名

選考過程

助成事業	選考委員会	推薦日	募集期間	推薦 (応募)数	採択数
理科教育賞（褒賞）	R2/9/17	—	—	4	4
日産財団リカジョ賞	R2/9/17	—	R2/5/25～ R3/1/17	28	4
理科教育助成（推薦）	R2/9/17	※	R2/6/1～ R2/9/11	32	32

※各推薦者(都道府県市町村教育委員会)によって異なる

3. 会議実績

(1) 理事会

① 第1回理事会（令和2年6月29日開催）

第1号議案：令和2年度第1回評議員会招集決定の件

第2号議案：令和元年度事業報告および会計報告書承認の件

第3号議案：令和2年度契約書等承認の件（決済金額500万円以上）

第4号議案：選考委員選任の件（理科教育助成）

第5号議案：選考委員選任の件（その他人材育成・教育助成）

報告事項：

（1）令和2年度職務執行状況の報告の件

（2）令和元年度資金運用状況について

（3）新型コロナウイルス渦における各助成事業の対応について

② 第2回理事会（令和2年7月31日開催）

第1号議案：令和2年度第2回評議員会招集決定の件

第2号議案：理事長選任の件

③ 第3回理事会（令和2年12月23日開催）

第1号議案：財団事務所移転のための賃貸借契約締結の件

④ 第4回理事会（令和3年2月5日開催）

第1号議案：財団事務所移転のための賃貸借契約締結の件

⑤ 第5回理事会（令和3年3月17日開催）

第1号議案：令和3年度事業計画書・正味財産増減予算書承認の件

第2号議案：令和元年度実施研究調査事業（初等中等教育段階におけるリーダー資質の萌芽・育成に関する調査研究）の研究期間延長承認の件

第3号議案：選考委員選任の件（その他人材育成・教育助成）

第4号議案：経理規程改定の件

第5号議案：個人情報保護規程改定の件

(2) 評議員会

① 第1回評議員会(令和2年6月29日開催)

第1号議案: 令和元年度事業報告書および会計報告書承認の件

第2号議案: 評議員選任の件

第3号議案: 会計監査人選任の件

報告事項: 令和2年度事業計画書・正味財産増減予算書について

4. その他

(1) 許認可および登記等に関する事項

① 許認可

なし

② 登記

なし

③ 提出・変更届出・変更認定申請

・変更の届出(令和2年5月8日)

・事業報告等の提出(令和2年6月30日)

・変更の届出(令和2年8月13日)

・事業計画の提出(令和3年3月23日)

(2) 受取寄附金に関する事項

なし

(3) 内部管理体制の整備状況

全役員を対象に公益性、法令順守意識涵養のために書籍・資料を配布した。

書籍: 「公益法人ガバナンスコード」の解説

資料: 助成財団センター主催「助成財団フォーラム2020」講演資料

～「想定外」の事態において助成財団はどのように社会的役割を果たせるか?～

(4) 附属明細書

令和2年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。